

★KOBE KODOMO NIKONIKOKAI NEWS★

こうべ子どもにここ会 ニュース



第7号 21年度 創刊号 発行

〒658-0022

神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201

TEL&FAX 078(453)7440

kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

<http://nikoniko.qee.jp/>

BLOG 当会HPからリンクしています

目次

●巻頭言

●活動報告

＜日本語・教科支援教室＞ ＜スペイン語母語支援教室＞ ＜その他の活動＞

●フォーカス

●声

●情報

●会員募集

●編集後記

北村 広美さん

こうべ子どもにここ会 運営委員

多文化共生センターひょうご 代表

新型インフルエンザ流行に思う

昨年 5 月 16 日朝、ニュースに矢田神戸市長の姿。日本での国内感染者が神戸市で発生したという。「えっ、なんで 神戸？」感染経路は不明だ。しかしそれを私が今追求することにはあまり意味がない。学校が休校になること、日常生活により一層の注意が必要になること、そういったもろもろの事柄を外国人住民はどうやって知るのだろうか。多言語の情報はあるのだろうか。あったとしてそれを誰が伝えるのか…。焦りながらもまずは情報収集である。幸いにも早い時点でブラジル人コミュニティからポルトガル語の情報を得ることができた。また地域の小中学校にも外国人の子どもへの対応状況をその日のうちに確認した。目立ったトラブルはないようで一安心。あとは外国人自身が状況を正しく理解し、感染から身を守ってくれることを願うばかりである。

この一連の行動から得た教訓は 2 つある。1 つは、日常からの地域や外国人とのかかわりがいざという時ものを言うことである。特に小中学校へのヒアリングでは、「こうべ子どもにここ会」を名のった時点で怪しまれることなく(?)速やかに情報を提供していただけた。もう 1 つは、日常のかかわりがあるからこそ、いざという時には「自分たちが」動かなければならないということである。このような場合、「どんな情報か」ということと同時に、「誰からの情報か」ということが重要であることが多いのである。まるで団体としての基礎体力と瞬発力を試されているような経験であった。

幸い、ウィルスは強毒化することなく、今回の地域感染は収束の方向に向かいつつある。しかし、おそらく、また数カ月後にはさらに変異したウィルスが地域を襲うだろうと予想された。次に活かせる情報はさらに迅速に伝達できるよう、喉もとを過ぎないうちに整理しておこうと思う。それにしても、なんで神戸だったんだろう。

韓国・朝鮮語
머리말
巻頭言

英語 Activity Report 活動報告

日本語・教科支援教室

日時 木・土 16:00~18:00 場所 本庄地域福祉センター



本庄地域福祉センターの改修工事により、7月末から8月末までの約1ヵ月間、別の集会所を借りて学習をしましたが、9月からまた元に戻りきれいになった福祉センターに子ども達も喜んでいました。

週2回のうち、特に平日である木曜日は宿題に追われてしまい、基礎力の積み上げが不十分な子どもたちにはこの短時間では理解できないことが多く、優先順位をどこに持っていくかが日々の私たち支援者の悩みの種です。

また、今年4月から外国人就学児童が増加しています。

それによりにこにこ会ではボランティア不足で待機してもらっている児童もいるのが現状です。

★2009年9月26日(土)

保護者会開催

保護者-担当ボランティア懇談会

保護者の方のにこにこ会に望んでいること、子育てについての悩みや不安などのお話を聞き、にこにこ会での時間で出来ること、方法などを長嶋先生よりアドバイスを頂きながら説明しました。

また、家庭内では母語での会話が大切なこと、

多読の必要性などを話し合うことが出来ました。とっても有意義な

時間を持つことが出来たのではと思っています。



研修会報告

★2009年9月25日(金)13:00~17:00 於)神戸市青少年会館

内部研修 【HIA外国人児童生徒への日本語学習支援アドバイザー派遣事業】

講師:櫻井千穂さん(大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程在籍)

ボランティア11名出席



私たち参加者から現状報告と指導上抱えている問題点についてあげた後、その疑問にできるだけ応じる形で、進めて頂いた。

○現状を改善していくためには、周囲(特に学校、保護者)との連携が大切であること、

○切り取られた文脈(支援者・ボランティアと子どもの間だけの数時間)の中だけで、指導・支援を完結させようと考えてはならない、ということ

○教育現場で実際に子どものことばの力を測るときの測定方法及び、測定の視点について実践を交えながらの紹介や理論に基づいた教授法、指導法

○『外国人児童生徒への日本語・学習支援の方法』というテーマに基づき、子どものことばの習得(母語・第二言語含む)の理論の概要

○具体的な指導法として、多読、再話指導の有益性と、子どもの認知面の発達段階を考慮した評価の視点について

講師 櫻井千穂さんよりメッセージを頂きました。

現実には、団体全体での取り組み(実践)につなげていくためには、団体の中で話し合いを重ね、方向性を明示していく必要があります。その上で、具体的に、カリキュラムを作成し、マテリアルをそろえていかなければならないでしょう。将来性を見据えた上で、今回の講義がその第一歩となったことを願っています。

「外国人児童生徒にとって言語習得のための読み聞かせの大切さについて」

(文責:日本語・教科支援ボランティア 川崎)

教室に通ってくる外国にルーツを持つ子どもたちの中には日常会話はできるのに、教科書を読むのを嫌がる子どもが多くいます。また元気よく友だちと遊ぶのですが、日本語でうまく伝えることができない時は、つい手が出てしまう子どももいます。

自分の思いをいかに相手に伝えるか、また相手の思いをいかに受け止めるか、そのためには家庭では母語をしっかりと話す。そして、学校やにこにこ会では日本語をしっかりと身につけることが大切です。ではそのためにどうすればいいのか?を学びました。

言語習得の基礎段階はまず字を覚え、語彙(ことば)を増やすこと。そしてその覚えたことばを使い、意思の疎通を図るのが応用段階。さらに自分で文章を作り、感情表現をするのが発展段階です。

この発展段階まで子どもたちを導くのに欠かせないものに絵本などの物語を通しての活動があります。「読み聞かせ」「多読」「があります。

「読み聞かせ」はまず話し手の言葉に耳を傾ける、すなわち聞く姿勢から始まります。

そして一つの物語を繰り返して読むことや、一つの物語からどんどん次の新しい物語へ進んでいくことで、子どもたちは想像力を膨らませ、感情豊かな人間へと成長していきます。

言語は意思伝達のための道具です。子どもたちの成長に応じて、正しく使えば自分を守ることができること、また使い方を間違えば相手を傷つけてしまうことも教えなければなりません。

にこにこ会では「読み聞かせ」を通して子どもたちにこれらの事を教え、サポートしていくことが今もこれからも、大切な課題だと思っています。

★2009年12月5日/12日 10:00～17:00 於)国際健康開発センター3F 交流ホール

平成21年度外国人児童生徒への日本語・学習支援ボランティア養成講座～教科学習指導のコツを探る～
ボランティアのべ3名出席

(1)教科学習指導の工夫と学校・地域の連携について(2)国語の授業における工夫(3)算数・数学の文章題におけるつまづきの原因を探る(4)社会科で必要とされる基礎知識(5)日本語能力の測り方 他

講師:大阪教育大学准教授 臼井智美さん 浜松市立遠州浜小学校教諭 櫻井敬子さん 伊丹市立池尻小学校教諭 藤井哲人さん

神戸市立神戸生田中学校教諭 榎木一彦さん 大阪市立南中学校教諭 田中薫さん

<第1日目:12月5日(土)>

(文責:日本語・教科支援ボランティア 山田和子)

1. 教科学習指導の工夫と学校・地域の連携について

臼井智美(大阪教育大学教育学部 教員養成課程 学校教育講座 准教授)

要点:◎ 子ども一人ひとりの年齢や多様性(子どもと保護者の母語・文化的背景、子どもの日本語学習状況、来日の時期と滞在予定期間など)に応じた指導の仕方を工夫する。

- ◎ 言語力とともに、思考力や学習力の育成が求められる。
- ◎ 日本語「を」習得すれば自ずと日本語「で」の学習に参加できる力がつくわけではない。授業で用いられる日本語についての支援が必要である。
- ◎ 日本語・学習ボランティアの役割は、学校での指導が行き届きにくいところに着眼し、子どもの学習の連続性に配慮しながら改善や習得を図ることにある。
- ◎ 到達目標(指導目標)に応じた学校内外の指導者の役割分担を明確にし、指導関係者間での情報交換の工夫をする。

感想:◎ 学外の学習支援ボランティアとして、場当たりの指導はいけない、学校教師は多忙で、ボランティアが敵対的だと思っている場合が多いとの指摘は、しっかり心に留め置くべきだろう。

◎「学級担任(教科担任)・日本語学級担任・外部支援者の間でのコミュニケーションが不可欠」という点は、理想(重要性)と現実(実現性)のはざままで悩むところであろうが、にこにこ会上層部に期待したい。学校との直接のコミュニケーションが難しいのなら、保護者とのコミュニケーションをより密にし、保護者を通じて学校とのコミュニケーションを図ることも考えられるのではないだろうか。

2. 浜松市立遠州浜小学校における実践～国語の授業における工夫～

櫻井敬子(浜松市立遠州浜小学校 教諭)

要点:◎ 遠州浜小学校の外国人児童の状況について、以下の観点から説明があった:数量的、国籍別、直接関わっている職員、指導システム、保護者との連携、児童のレベル、にほんごNPO・ボランティアとの連携

- ◎ 国語指導のガイドラインはつぎのとおり:
 - ① 学習の姿勢を身に付ける(分かる喜びを感じさせる)、② あらすじが分かる、③ 語彙を増やす、④ 学年の文章に慣れ、読み取り方が分かる。
- ◎ 国語教科書の具体例を使って、説明文の指導、物語文の指導、書く指導の仕方が説明された。
- ◎ 総合的な学習として、日本語で自分の思いを伝える指導が行われている。

感想:◎ 子どもの学習環境が整っていることに感心した。数の力(外国人児童数は全児童数の22.9%)が根底にあるのだろうが、関係者の努力の積み重ねが推察される。

3. 算数・数学の文章題におけるつまずきの原因を探る

藤井哲人(伊丹市立池尻小学校 教諭)

要点: ◎ 日本語指導(JSLカリキュラム)実践においては、以下の事柄を心がけている: ① 日本語で学ばせる、② 児童の実態(意欲、関心、能力など)を把握する、③ 生活背景(文化)の違いを考慮する、④ 「これだけは、ぜひとも身につけさせたい!」を考える、⑤ 精選された学習内容(④)に迫る手立てを工夫する、⑥ 教科(学習内容)は、文化そのものである。(なお、②と③については、個人的なことなのか、いわゆる国民性的なことに起因するものかにも考慮して、指導・支援をする。⑤については、学級担任との共通理解や協力が欠かせない。)

◎ 算数科学習(文章題指導)においては、つぎの点を心がけている: 問題づくりでは、① 児童が意欲・関心を持てる問題をつくる、② 数値を工夫する、授業では、③ 児童と話しながら問題を書かせる(書けない場合は声に出して読ませる)、④ 児童自身の「今ある力」で解かせる、⑤ 発問する(数量をたずねるのではなく、「動き」「変化」をたずねる)、⑥ 絵や図に描いて、イメージ化する、⑦ 公式にして、答えを出す。

◎ 参加者はグループ別に、提示された算数の問題(文章題)の指導の仕方を考え、発表した。

感想: ◎ 聴講者(筆者)自身の貧しい経験でも、日本語が不自由な外国人児童・生徒は、文章題の数値だけに注目し、想像で数値を操作して答えを出そうとしがちだが、問題の日本語を理解し考えるように導くための藤井氏のさまざまな工夫は大変参考になった。問題づくりまでは無理としても、せめて、氏が授業で心がけておられることを参考にしたい。

Informação

情報 深江多文化子どもまつり 2010 を開催します。

- MULTICULTURAL CHILDREN'S FESTIVAL in FUKAE
- FESTIVAL DE LOS NINOS MULTI-CULTURALES de FUKAE
- FESTIVAL DAS CRIANCAS MULTI-CULTURAIS de FUKAE
- PIYESTA BATA MULTI-CULTURAL SA FUKAE
- 深江多文化児童活動

(各種アクセント、中国漢字の入力ができず類似漢字等を使っています。)

ご了承ください)

🔴日時: 2010年5月23日(日) 11:00-15:00 小雨決行

🔴場所: 深江会館 [阪神深江駅南へ徒歩1分]

神戸市東灘区深江本町 3-5-7

🔴入場無料

🔴内容: さまざまな文化の屋台、ステージ、ゲームコーナー、

ふかえカフェ、キッズコーナー、読み聞かせコーナー、スタンプラリー

ビンゴ、共同製作コーナーなど

【申し込み・お問い合わせ先】

深江多文化子どもまつり 2010 実行委員会

神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201

多文化共生センターひょうご事務所(共同オフィス)

TEL 078(453)7440

MAIL fukaefes@yahoo.co.jp

お気軽にお問い合わせください。Blog [深江多文化](#) [検索](#)



●20年度決算報告

20年度の決算報告は以下の通りになりました。

19年度繰越金	-70,944
助成金	880,000
会費	244,500
保険	19,000
運営協力金	289,200
寄付金	32,970
収益	60,700
その他(賞等)	1,190,909
収入合計	2,717,279
活動事業費	560,148
事務管理費	500,000
人件費 (事務職員3名)	1,002,300
活動準備金	500,000
支出合計	2,062,448
来年度繰越金	83,887

小学生クラス 日時 月15:00~17:30 場所 神戸市立本庄小学校

中高生クラス 日時 第2・4火16:30~18:30 場所 当会事務局

スペイン語母語支援教室

[小学生クラス]

残念ながら、昨年度の最終生徒数が5人と少なかったため、21年度の兵庫県母語教育センター校としての指定が受けられず、大変な状況にありました。

4月には、小学1年生が増え、ペルー、アルゼンチン、パラグアイ等を背景に持つ6年生までの10人の子どもたちが学習していました。

講師をして下さっていた、ロサさんのご事情により7月より休止していたのですが、9月より新しい講師の藤戸直美さんのご協力と、中高生クラスの学習者でもある、カロリーナさんのアシスタント体制で再スタートすることができました。

ロサさんも無事2月から復帰され、2人3脚体制で実施しました。

曜日も金曜日から、スタッフが出勤している月曜日に変わりました。これまで課題だった当会日本語・教科支援教室や、保護者、小学校との連携にも取り組んでいます。

日本生まれや幼少期から日本で生活している子どもも多く、先生からの簡単なスペイン語での指示でさえも難しい子どもが少なくありません。学ぶことの「楽しさ」を持続させながら少しずつ進めています。

またより保護者と学校の先生方との連携を推進していくため、「nikoniko Español」という通信を発行し、各家庭や校長先生、職員室に配布しています。



[中高生クラス]

現在、4名(中学生1名、高校生3名)の子どもたちが講師のルルデス・エレラさんとともに学習しました。

ペルーの文化や政治、文学など扱うテーマも深く、子どもたちは毎回とても楽しみに教室に通って来ました。

学習者である、ミチエル カルデナスさん(中高等学校4年生)が8月23日(日)兵庫県民会館にて行われた、兵庫県教育委員会主催の外国から来た子どもたちへの進学ガイダンスの「先輩からの体験発表」に参加しました。

★ 2009年3月22日(日)

神戸国際交流フェア2009に屋台のブース参加しました。

於)ハーバーランドDUOドームスペースシアター
今年で7回目の出店でした。

アルファホール(ペルーのお菓子)、アトーレ(メキシコのとうもろこし)
タコス(メキシコ)コーヒー、ハイビスカスティーの販売をしました。



★2009年3月28日(日)

ゆめのはこ2009に参加しました。

於)原田の森美術館

はじめての参加でした。

自分の書いた絵をカンバッチにしてもらえる企画に間に合わなかったりしたことが残念でしたが、トランペットの演奏体験をしたり、頑張ってやっと音が出た子、1回目でもとても上手に音を出した子もいて意外でびっくりしました♪
紙芝居でも一緒に踊ったり作品を作ったりとても楽しかったです。



★2009年3月28日(日)

第2回SDFアワードに出席しました。

於)原田の森美術館

NPO法人ソーシャルデザインファンドさんの
子どもがつくる夢基金の第2回SDFアワード
に選ばれ、ゆめのはこ2009同会場にて表彰して
頂きました。

フェアフレンズのまくらも副賞として頂きました。



★2009年7月27日(月)~31日(金)

夏休み宿題教室

於) 当会事務所(共同オフィス)



★2009年7月30日(木)

第1回多文化チャレンジ隊 科学じっけん教室

夏休み期間中にこにこ会の子もたちと地域の子もたちが一緒に
アイスクリーム作りにチャレンジしました。



★2009年8月8日(土)～9日(日)

多文化チャレンジ隊キャンプ 共催:多文化共生センターひょうご
於)小さな森のキャンプ村
県立やしらの森公園



にこにこスタッフ 6名

ボランティア 7名、子ども 15名 子どもたちの保護者 3名 参加

★2009年10月17日(土)

神戸ユニバーサルデザインフェア出店
於)住吉公園グランド

朝突然の大雨に見舞われ、大変でしたが
午後から何とかお天気も持ち直しました。



様々な国のお菓子詰め合わせや、ブラジルのガラナというジュース
子どもたちと一緒にチャリティで作った「にこにこ会ゆめきらきらマグネット」を売りました。
子どもたちも課外学習として、販売を体験しました。

★2009年12月5日(土)

にこにこ会パーティー

於)深江会館

毎年開催しているクリスマス会は、今回は宗教上の配慮からにこにこパーティーになりました。



★2009年12月12日(土)

兵庫日本語ボランティアネットワーク主催 退職教員養成講座報告

にこにこ会での活動の紹介をさせていただきました。

★2009年12月19日(土)

ゆめのはこ めくめくまつり 参加、出店(pescaria)



場所 こうべサンシャインワーフ(阪神 青木駅より南)

Pescaria(魚釣り)・ゲーム等々、子どもたちと とても楽しく過ごしました。

★3月26日(金)～28日(日)

ゆめのはこ2010

於)原田の森美術館

2010 はにこにこ会も神戸市社会福祉協議会とコラボでブースを出しました。
ブラジルの魚釣り、ペスカリアが大好評で順番待ちに・・・、3日間で300人くらいの子もたちが来場しました。
このイベントでどろ団子作りに、にこにこ会の子もたちも参加をして、集中してきれいに仕上げていました。



にこにこ会の日本語・教科支援教室の運営は
ボランティア全員の「係」分担の協力により成り立っています。

第6回

日本語教科支援教室
土曜ボランティアリーダー
竹中夕紀さん



曜日リーダーの分担内容を、土曜日の視点からお話したいと思います。

私は土曜日ボランティアリーダーを約1年半担当しています。

内容は基本的に、

- ★当日の活動をとりまとめることが中心です。
円滑に活動が進み、各ボランティアが活動しやすい環境を作ります。
- ★子ども、ボランティアの出欠確認
- ★当日のマッチングの検討
- ★新しいボランティアさんのサポート
- ★活動場所である本庄地域福祉センターとの窓口として動くことが、主な役割です。

教室の学習時間中は、子どもたちの様子を見て回り、その日の教室全体の様子を把握します。

またにこにこ会では季節ごとにイベントや行事があります。

普段の学習以外での課外学習も、子どもたちにとって大事な場面なので、そういった際には子どもに案内を配ったり、引率をしたり、一緒にイベントに参加します。

リーダー業務に何より大切なことは、
にこにこの内外問わずの関係者、子ども、ボランティア、スタッフ、また他曜日のボランティアとのコミュニケーションを密にとり連携を図ることであると思います。
簡単な事ではありませんが、にこにこ会が“子どもたちがもっとも学習しやすい、居心地の良い居場所”であるためには何が必要かを考えた時に、どんな努力も惜しいとは思いません。

また、私は元気な子どもたちから、沢山活力をもらいます。

リーダーとしてのもう一つの役割は

ボランティアさん一人一人に、にこにこ会で活動する楽しさ、やりがいを沢山感じながら活動に参加してもらいたいと感じています。にこにこ会と子どもたちの成長に欠かせないのはボランティア一人ひとりの力が結束された結果の、大きな力だということを知ってもらいたいと心から思うので、その為に努力をしています！

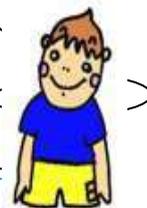


4月から音楽の先生として活躍されています！

第6回

日本語・教科支援教室ボランティア

★福田 恵さん(ボランティア) 大学4年生



活動を通して学んだこと、感じたこと。

活動に参加させて頂いた1年間、何より子どもの成長に驚くばかりでした。

日本語をほとんど話せなかった子どもが、その日学校であったことを楽しそうに話す、日本語の歌を歌う、絵本を読む。このような当たり前の成長に、毎度喜びを感じました。私は普段の活動で、学校の宿題等に追われるばかりで、にこにこ会でも力を入れている「多読」の活動になかなか手が回せなかったのが残念です。ボランティアの方は、子どもを楽しませながらいかに効率よく、様々な活動を盛り込むかが大切です。



私は度々、支援者側の難しさにも直面しました。しかし、ボランティア同士で話をする機会も多いので、相談に乗って頂いたり話を下さったり、アドバイスを頂いたり、このような仲間が存在があったから続けられたと思っております。イベント係としては、イベントの準備に追われる日もありましたが、「子どもの喜ぶ顔を見るため、楽しみにしている子どもの期待を裏切る訳にはいかない！」と皆で意気込み、力を合わせ楽しく仕事ことができました。イベントが無事に終わった時の達成感は、この上ない喜びでした。

1年間、本当にありがとうございました。

これからもにこにこ会のご活躍を、心より願っております。



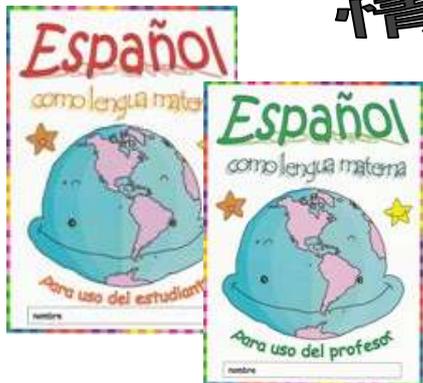
スペイン語母語教材 販売のご案内

発行：こうべ子どもにこにこ会

著者：櫻井千穂 中島永倫子 Francisco Alfaro Herrela Lourdes

価格：2,000円 指導者用と学習者用があります。

A4 128ページのオールカラー！！



学習者用

指導書

【テキストの主な特徴】

- ・従来の文法中心の積み上げ式ではなく一課完結型のモジュール型である。
- ・タスクプロジェクトをベースにしており、レベル分けされた(Nivel1~3)練習問題を与えることでそれぞれのタスクを完成させることができ、児童がレベルの違いを超えてクラス参加ができるようになっている。



カリキュラムの作成上の留意点、構成、カリキュラム・使用例詳細(櫻井2008など)

は当会HPに掲載しています。

※前、6号(2009年3月発行)時にリンクに不備があり、ご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

★ご支援ありがとうございます

(順不同・敬称略)

〈正会員・サポーター会員〉

長嶋昭親、佐野末夫、武田丈、北村広美、延原臣二、田中康夫、中島永倫子、明石いずみ、乾美紀、服部ゆり、山口一史、中鼻孝幸、前原美和、根岸親、辻本久夫、天野くみ子、二階堂裕子、湯口恵、高木重幸、高木健太郎、鈴木真由美、島尚子、松田陽子、後藤アユ子、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、凡人社大阪営業所、波多野ファミリスクール大蔵守久、秋田理恵、松下朋子、竹中夕紀、田中香織、匿名ご希望 5名

〈絵本寄贈〉妹尾良子 〈事務機器寄贈〉乾美紀、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科

〈ホームページサーバー提供〉植田篤

ご本人にご了承の上で記載させて頂いておりますが、未確認の方につきましては、次回以降にさせて頂く予定です。

匿名希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

皆様のご支援によりにこにこの活動は成り立っております。

今後ともご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

関西ええこと.mot にこにこ会

検索

★ブログに日々の活動を更新中

定期的に活動の様子やスタッフの思いなどを更新しています。

当会 HP からリンクしています。

大変不足しています！



★ボランティア 募集中!!!

●日本語・教科支援ボランティア 週1回木曜日または土曜日・学生優待制度あり

随時対応しております。お気軽にお問い合わせください。



日本語
会員募集
☆☆☆

会員になって
私たちの活動を支えてください。

◆◆正会員【年会費 5000円】 個人

総会での議決権がある会員です。

◆◇サポーター会員

【年会費 101000円】

個人10以上・法人10以上

経済的な支援を頂く賛助会員です。



中国語
編輯感想
編集後記

昨年、「今年こそは定期的に!!」と宣言したにも関わらず約束を果たせませんでした。情報発信の大切さを重々分かっているのに、申し訳ありません。今後ものにこにこ会、+ブログ+会報を暖かく見守って頂ければ幸いです。スタッフ3人ここ3日で校正、発送作業などこれ以上遅らせられまいと必死でした。

娘は現在2歳7カ月に成長しています。保育園も今年から進級のため制服になり、毎日喜んで通っています。現在おまつりの準備でとても忙しく、いろいろと我慢させてしまっている母親です。当日楽しんでくれると嬉しいのですが、ありがとうございます。 (たなか)

